

# アル・アクサ洪水第557日目：イスラエルがヤルムーク・スタジアムを爆撃 | 予備役の危機は報道より「はるかに大きい」

Palestine Chronicle、2025年4月15日、脇浜義明訳 \*脚注は訳注



イスラエルはガザでの虐殺を続けている。(Photo: via QNN)

## 主要事項

\*イスラエル軍のハーン・ユニス西にあるクウェート野戦病院の玄関への空爆で、パレスチナ人が1人死亡し、数人が負傷した。

\*戦争終結を要求する抗議請願運動にますます多くのイスラエル兵が加わっている。イスラエル軍が軍へのこの造反が熟練下士官の間にも広がるのではないかと憂慮していると言われている。

\*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降ガザでイスラエル人に殺害された数は51,000人となり、負傷者は116,343人となった。その多くは女性と子どもである。

## 最新情報

4月15日 11:59pm (パレスチナ時間)

\*アル・ジャジーラ (医療筋を引用)：西岸地区ジェニンの南のカバティーヤ旧市街でイスラエル軍特殊部隊の発砲でパレスチナ人とその子どもが負傷した。

\*OCHA (国連人道問題調整事務所) 所長 (アル・ジャジーラの取材に対して)：ガザで起きていることは地獄だ。もう1年半経つのに、まだ民間人への攻撃が続いているのを我々は目の当たりに見ている。集団殺害罪の防止及び処罰に関する条約 (ジェノサイド条約) に従っていない。ガザの住民は苦しんでおり、今は1年半の間で最もひどい時だ。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はガザ市のヤルムーク・スタジアムへ避難している数千人の住民を空爆した。

\*イエメン・メディア：米軍はサアダ県のアッサーレム地区を3回空爆した。

\*ハアレツ：予備役兵の戦争終結を求める抗議請願運動は発表されたよりも大きいイスラエルへの危機である。軍は、政府からの圧力で、抗議請願に署名した予備役兵を軍から隔離する決定をした。軍は戦闘地帯から予備役兵軍の数を減らし、予備役兵召集の数を減らす決定をした。

**4月15日 9:12 pm**

\*パレスチナ・クロニクル：URWA事務局長フィリップ・ラザリーニは、ガザの「地獄のような」状況はイスラエルの停戦破りからひどくなったと言った。彼はトルコで開催されたアンタルヤ外交フォーラム（ADF）でアナドル通信社からインタビューを受け、その中で「停戦前の状況もすでに地獄のようであったが、停戦違反の攻撃再開後は地獄の底に転落したようだ。日々底へと転落している」と語った。

\*ハマス声明：我々はモルジブ共和国大統領がイスラエル人のモルジブ入国を禁じる決定を承認したことを高く評価する。我々は世界の他の国々にモルジブを見習って、シオニスト国家を孤立させ、犯した犯罪の代償を支払わせるように呼びかける。

\*ネタニヤフ（カザ北部から）：我々は我々の生存と未来のために戦っている。米政府はイランと交渉すると言っているが、ハーメネイーは何故イスラエルを絶滅させなければならないかを説明する文章をネット配信した。我々は人質返還を勝ち取り、ハマスにもっと打撃を与える戦争目的を達成する決意である。

\*チャンネル12：予備役兵と特殊部隊の元兵士等472人が戦争終結を要求する抗議請願書に署名した。

\*イスラエル・メディア：4月13日、イスラエルの作家、詩人、著作家たち数百人が、ガザ戦争の即時終結、59人の人質の返還、ガザ回廊と住民の未来に関する明確な計画の作成を求める請願書に署名した。

\*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は国防大臣を伴ってガザ回廊北部の現地視察を行った。

\*アル・ジャジーラ：イタマル・ベン・グヴィル安全保障大臣はヘブロンイブラヒム・モスクを急襲した。

\*パレスチナ・クロニクル：イスラエル・メディアは予備役兵、安全保障当局者、その他の人々の、戦争終結と人質返還を求め、ネタニヤフ政府の交渉妨害を非難する抗議署名運動の広がりをハイライトとして報道している。パレスチナ・クロニクルはそれに関する簡単な説明を行った<sup>1</sup>。

\*アル・カッサム旅団（イスラエル人質の家族向けのビデオ・メッセージ）：覚悟しなさい。あなた方の子どもは棺桶で帰ることになるでしょう。あなた方の国の政府は人質を処刑する戦争再開決定に署名した。埋葬地を準備しておきなさい。

\*パレスチナ・クロニクル：ハーバード大学は「反ユダヤ主義との闘いに必要」と示された学生・教授管理、雇用、入学審査などに関する政府の要求リストを拒否したので、政府はハーバード大学への2億2千万ドルの助成金を凍結すると発表した。4月11日に政府が大学に送った5頁の書簡で、ハーバード大学は最近「政府の教育助成の条件を満たす知的・公民権的条件を満たしていない」と書かれている<sup>2</sup>。

**4月15日 6:39 pm**

\*アブ・オベイダ（アル・カッサム旅団報道官）：我々はアメリカ国籍のイスラエル兵人質エイタン・アレクサンダーを拘留しているグループと、彼らの所在地へのイスラエル軍の爆撃の直撃の後、連絡が取れなくなった。我々は、イスラエルが二重国籍人質に関して、本国政府からの圧力を排除して絶滅戦争を続けるために、意図的に人質がいる場所を攻撃して人質を消去しようとしていると、推測している。

\*ハマス声明：我々は、同胞のパレスチナ人と世界の自由を愛する人々に、「ガザはあなた方に訴える」という名の世界週間への参加を呼びかける。我々は来る金曜日、土曜日、日曜日をイスラエル占領とそれを支持する米国への世界的怒りの3日間とする。我々は世界の市民運動と労働組合のパレスチナ連帯の呼びかけに感謝し、火曜日を労働組合のストの日とすることを奨励して、世界の呼びかけに対応する。子どもの泣き声、重傷者や病人の呻き、飢餓に苦しむ避難民の叫びは世界のすべての良心に訴えている。

\*カン：海軍の予備役将校訓練コースの修了者500人が人質返還と戦争終結を要望する請願書を出した。停戦嘆願書の署名者の中には4人の元海軍司令官が含まれている。

---

<sup>1</sup> ["Near Consensus — The Political Scene on Israel, as Reported in in Israel Media", Palestine Chronicle News, April 15, 2025.](#)

<sup>2</sup> アラン・ガーバー学長は「当大学は独立性を放棄することも、憲法上の権利を放棄することもしない」と宣言した。トランプ政権の大学に方針転換の迫っている攻勢に抵抗を示したのは、ハーバード大学が初めてである。

\*アル・ジャジーラ：モルジブ大統領はイスラエル人の入国を禁じる決定を承認した。大統領はイスラエル人入国禁止はイスラエルがパレスチナ人に行っているジェノサイドに反対するわが国の強い姿勢の表れであり、我々はイスラエルの国際法違反に責任を取らせることを要求し、イスラエルの犯行を非難すると宣言した。

**4月15日 4:14 pm**

\*イスラエル軍：わが国空軍は南レバノンのアイタールン地区のヒズボラの特種部隊の小隊指揮官を標的にして空爆した。

\*アル・ジャジーラ（クウェート野戦病院の院長を引用）：我々は担ぎ込まれてくる負傷者の手当を中心に活動しているが、器具や装備の不足で仕事ができない。これの解決は検問所閉鎖を解いて、支援物資や医療品の搬入を許可することだ。今日は4台の救急車が使用不可となったが新しい救急車導入は許可されない。

\*ハマス：ファシスト占領政府の生活必需品のガザ搬入の妨害は7週間続いている。

\*マクロン仏大統領：私はネタニヤフ首相との電話会談で、イスラエル国とイスラエル国民の安全保障を支持するフランスの姿勢を再確認した。「人質」の解放は、ハマスの武装解除と同じように、最優先事項である。人道支援物資搬入のためにすべての検問所の閉鎖を解くことは、ガザの民間人にとって重要である。ガザの民間人の苦しみは終わらさなくてはならない。

**4月15日 1:37 pm**

\*レバノン保健省：南レバノンのアイタールンの町の自動車へのイスラエル軍の空爆でレバノン人1人が死亡、子どもを含む数人が負傷した。

\*アル・ジャジーラ：ガザ市東のシェジャイヤ地区へのイスラエル無人機の爆撃でパレスチナ人1人が死亡し、数人が負傷した。

\*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は最近のイスラエル・フランスの緊張に関して、マクロン仏大統領と電話会談する。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル無人機が南レバノンのアイタールンの町の乗用車を攻撃した。

\*ガザ保健省：2023年10月7日以降ガザでイスラエル人に殺害された数は51,000人となり、負傷者は116,343人となった。その多くは女性と子どもである。

\*パレスチナ・クロニクル：影響力があるイスラエル人——予備役兵、ベテラン軍人、元情報機関高官、学者、教育者、医師、有名人など——11,000人が、即時停戦と人質返還を求める様々な嘆願書に署名した。この数はイスラエル・メディアが最近盛んに報道する運動に基づくもので、イスラエル社会の中で大きく成長しつつある反対者の一部分にすぎず、今後もっと数は大きくなるであろう。

**4月15日 11:48 am**

\*アル・ジャジーラ：イスラエルのハーン・ユーニス西のクウェート野戦病院の玄関への爆撃で、パレスチナ人1人が死亡し、数人が負傷した。

\*イスラエル軍ラジオ放送：ベザレル・スモトリッチ財務大臣は、今夜の安全保障会議にシン・ベト長官ロネン・パールが出席するなら、自分は欠席するとネタニヤフ首相に通告した。

\*ガザ保健省：薬品不足危機のために医療チームが負傷者に緊急治療を完結することができない。何百人という病人や怪我人が治療を受けることができず、検問所閉鎖のために彼らの苦しみが際限なく続いている。薬不足でもっとも厳しい影響を受けるのは癌、腎不全、心臓病の患者である。国際社会がイスラエル占領国に医療品のガザ搬入を許可するように圧力をかけることを切に希望する。

\*チャンネル7（イツハーク・ブリック退役准将を引用）：イスラエル社会の亀裂と憎悪のため、わが国は内乱の瀬戸際に立っている。イスラエル社会内の憎み合いは外敵以上に国家存続の脅威となっている。

\*ハアレツ：3,500人の学者が、たとえ代償が戦争の即時終焉になっても、人質を取り戻すことを要求する嘆願書に署名した。

\*イスラエル・ハヨム：教育関係の3,000人の労働者が人質返還と戦争終結を求める嘆願書に署名した。200人以上のイスラエル兵と海軍の古参兵が、戦争を中断してでも人質返還の交渉を行うことを要求している。

\*WALLA：WALLA ウェブサイトは、数百人の予備役兵がネタニヤフ首相に戦争をやめて人質帰還に取り組むことを要求していると報道した。またWALLA ウェブサイトは予備役兵が署名した二つの嘆願書について、ネタニヤフ首相は法執

行当局に対する民衆の反発を誘発して、当局職員を危険に晒していると述べていると報道した。この予備役兵たちはサイバー攻撃部隊と特殊部隊に所属する予備役兵だと指摘している。

\*OCHA：国連人道問題調整事務所（OCHA）は、ガザの人的危機状態は2023年10月7日のイスラエルの攻撃開始以降「おそらく最悪」の状態となっていると述べた。人道支援物資の搬入をイスラエルが止めていることが最悪状態を促進していると述べた。

\*アル・ジャジーラ：イスラエル占領軍は、砲弾攻撃に並行して、ラファの北の建物の解体を行っている。

\*アル・ジャジーラ（医療筋を引用）：昨日夜明けからのイスラエルのガザ回廊攻撃で15人のパレスチナ人が死亡した。

\*イエメン・メディア：米軍はイエメン北部のアル・ジャウフ県のアル・カフ地区とアル・カーディル地区を空爆した。

\*カン：カンは、イスラエルはガザ協定で譲歩を行う用意があるが、その譲歩は「ハマスを殲滅を止める」ことを含まない譲歩であるという情報筋の言葉を伝えた。

\*ワシントンポスト（イスラエル予備役兵を引用）：ワシントン・ポストは軍医療関係の予備役将校が戦争継続はネタニヤフの政治的保身のためであると言った発言を伝えた。

\*アル・ジャジーラ：ハーン・ユニス南のアッタハリア地区の民家へのイスラエル機の空爆で何人かが負傷したという報告がある。

\*イスラエル軍ラジオ放送：ゴラン旅団の約150人の古参兵が戦争終結の抗議嘆願運動に加わった。

\*チャンネル12：イスラエル軍ヘルジ・ハレヴィ参謀長は予備役兵の署名活動を阻止する協議を行った。軍はイスラエル社会内部の亀裂の重大性を認識し、このままだと兵士の間で反乱に発展しかねないと憂慮した。参謀長は現役の予備役兵が運動に参加しないように働いている。